



【財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構とは…】

平成9年5月、アイヌ文化の振興等を行い、アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重される社会の実現と、我が国の文化の多様な発展を図ることを目的とする「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」が制定され、同年7月から施行されました。

当財団は、平成9年7月、北海道札幌市内に事務所を、同年9月には東京都内にアイヌ文化交流センターを開設し、この法律に基づき、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統やアイヌ文化に関する知識の普及・啓発などの事業を実施しています。

平成24年度

10月▶12月(Vol.3)

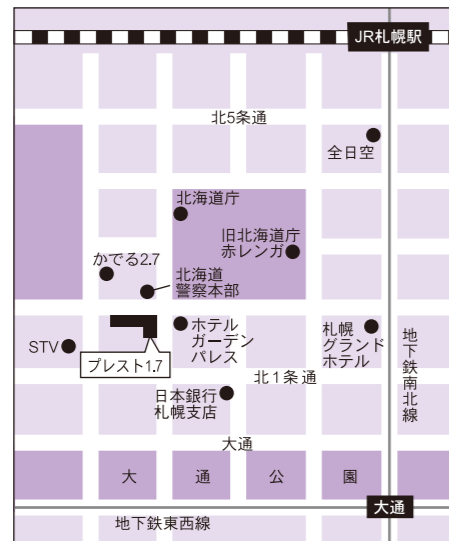
アイヌ語 ラジオ講座テキスト

講師 押野 朱美・押野 里架

Vol.3

財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

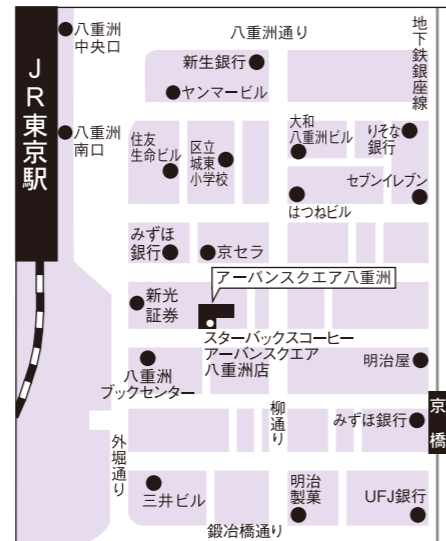
〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7(5階)



The Foundation for Research and Promotion of Ainu Culture (FRPAC)
Presto 1.7 (5F), Kita 1, Nishi 7, Chuo-ku, Sapporo 060-0001 Japan
TEL.(011)271-4171 FAX.(011)271-4181
ホームページ <http://www.frpac.or.jp/>
e-mail : ainu@frpac.or.jp

アイヌ文化交流センター

〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目4番13号 アーバンスクエア八重洲(3階)



Ainu Culture Center, Tokyo
Urban-Square-Yaesu (3F), 4-13, Yaesu2, Chuo-ku, Tokyo 104-0028 Japan
TEL.(03)3245-9831 FAX.(03)3510-2155
e-mail : acc-tokyo@frpac.or.jp

STVラジオで放送中

- ◆本放送 毎週日曜日 あさ 7:00～7:15
- ◇再放送 毎週土曜日 よる 23:00～23:15
(平成24年10月6日より放送時間が変わりました)

財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

平成24年度 10月▶12月(Vol.3)

アイヌ語 ラジオ講座テキスト

講師 押野 朱美・押野 里架

Vol.3



放送内容はインターネットでも配信しています。

STVホームページ <http://www.stv.ne.jp/radio/ainugo/index.html>

講師のプロフィール



里架さん

朱美さん

おし の あけ み おし の り か
押野 朱美(姉) 押野 里架(妹)

むかわ町出身の双子姉妹。幼少期から祖母や母の影響で、アイヌの唄や踊りに触れる。中学生の時、カナダ先住民との交流経験によりアイヌ民族への関心が高まり、アイヌ語・アイヌ文化を本格的に学び始める。

アイヌ語指導者育成事業 第5期修了生。

苫小牧駒澤大学国際文化学部国際文化学科卒業。

白老町役場企画振興部企画制作課アイヌ施策推進室学芸員(里架さん)。

協力者の紹介

■支援研究者

さ とう とも み
佐藤 知己

北海道大学大学院文学研究科教授。同アイヌ・先住民研究センター兼務教員。研究分野は言語学・アイヌ語・北方言語。研究内容はアイヌ語を中心とする言語の記述的、文献的研究。

主著に、『アイヌ語文法の基礎』(大学書林, 2008年)

■文化指導

よし むら ふゆ こ
吉村 冬子

むかわ町在住。両講師の祖母。日常生活の中でアイヌ語を身につける。昭和59年鶴川アイヌ文化伝承保存会の設立当初から会員として古式舞踊・儀礼・口承文芸など伝承保存活動を行う。

平成6年から鶴川アイヌ語教室助手、講師を務める。

平成10年アイヌ語弁論大会最優秀賞受賞。

その他、多数の講演、執筆活動を実施。

【このテキストのアイヌ語と表記の仕方について】

現在のところアイヌ語には共通語というものはなく、それぞれの地域でそれぞれの方言が学ばれています。そのため、このテキストでは担当講師の方言(鶴川の方言)をベースにしています。

アイヌ語ラジオ講座のスケジュール表

月	日	LESSON	テ - マ	ページ
10月	7日	28	終助詞一文の最後に使われる助詞	4
	14日	29	格助詞—位置関係を表す助詞	6
	21日	30	位置名詞(1)— or「ところ、場所、中」の用法	8
	28日	31	位置名詞(2)—位置名詞の人称変化	10
11月	4日	32	アペフチカムイ⑤(火の神の神謡)	12
	11日	33	後置副詞—「〜と」、「〜で」、「〜より」の言い方	14
	18日	34	副助詞—「〜は」、「〜も」などの言い方	16
	25日	35	助動詞(1)— 一般的な助動詞	18
12月	2日	36	アペフチカムイ⑥(火の神の神謡)	20
	9日	37	助動詞(2)—助動詞的な熟語表現	22
	16日	38	形式名詞—「〜するもの」、「〜する人」の言い方	24
	23日	39	複合人称—「私がお前に」の言い方	26
	30日	40	アペフチカムイ⑦(火の神の神謡)	28

例文

(1) オッカヨボ、ムカワ ウン クル エネ ルウエ？
 okayopo, mukawa un kur e-ne ruwe?
 おにいさん 鷗川 の 人 お前が³である の
 「おにいさん、あんたは鷗川の人なの？」

(2) カニ アナクネ ムカワ ウン クル クネ ワ。
 káni anakne mukawa un kur ku-ne wa.
 私 は 鷗川 の 人 私が³である よ 「私は鷗川の人間だよ。」

(3) エコツチャ タ イタンキ シネブ アン ナ。
 e-kotca ta itanki sinep an na.
 お前の-前 に お椀 一つ ある よ 「お前の前にお椀が一つあるよ。」

(4) ウク ワ エンコレ ヤン。
 uk wa en-kore yan.
 取る て 私に-与える なさい 「私に取って下さい。」

単語

アイヌ語	日本語訳	備考
アナクネ	anakne	～は
アン	an	ある、いる
イタンキ	itanki	お椀
ウク	uk	取る
ウン	un	～の、～に住んでいる
エ	e-	お前が、お前は
エ	e-	お前の、お前を
エン	en-	私を、私に
オッカヨボ	okayopo	若者、おにいさん
カニ	káni	私
ク	ku-	私が、私は
クル	kur	人
コツチャ	kotca	前
コレ	kore	与える
シネブ	sinep	一つ
タ	ta	～に、～で
ナ	na	～よ
ネ	ne	～である、～だ
ムカワ	mukawa	鷗川
ヤン	yan	～なさい
ルウエ	ruwe	事、～の
ワ	wa	～て
ワ	wa	～よ

解説

日本語の助詞の中には「行きます」に対して、「行きます・か」、「行きます・よ」、「行きます・ね」の「か」、「よ」、「ね」のように、文の最後に付いて様々なニュアンスを表すものがあります。アイヌ語の助詞にも類似したものがああります。このような助詞を「終助詞」といいます。代表的なものとしてはwa「～よ」、na「～よ、～ぞ」、ya「～か」のようなものがあります。

ya「～か」は疑問の意味を表しますが、疑問文にははっきり疑問の意味を表すya「～か」ではなく、すこしばかした言い方である ruwe (日本語の「行くか」に対する「行くの」の「の」に当たる)が使われることもよくあります (ruwe は終助詞ではなく、「名詞化辞」と呼ばれるものです。このような形式については後でまたあらためて学びます)。

wa「～よ」は、疑問文や命令文に対して答える文の末尾でよく使われます (例文(1)、例文(2)を参照)。ただし、wa を「～よ」と一応訳してありますが、wa の微妙なニュアンスにはよくわかっていない点もあります。日本語の「～よ」は非常によく使われますが、アイヌ語の wa「～よ」は、日本語の「～よ」に比べるとはるかに使われる度合いが低いようです。日本語の「～よ」や「～ね」と同じつもりで、いつも文の最後に習慣のように wa「～よ」を付けるとかえって不自然なアイヌ語になってしまう可能性があります。「質問、命令に対する答え」のような場合を除いては、むやみに waを文の最後に付けない方がよいかもしれません。

na「～よ」は、命令のようなストレートな表現ではありませんが、相手に何らかの対応を求めることを暗にほめかすというニュアンスがあります。例文(3)も、「お椀があるよ」としか言っていないんですが、na を付けることによって、「だから何か対応しなさい」という含みが表されています。ですから、後に、「取って下さい」という具体的な内容がさらに示されているわけです。


例題

適切な終助詞を入れなさい。

1) オハウ エ ヤン。
 ohaw e yan.
 おつゆ 食べる なさい 「おつゆを食べなさい。」

エ。 ケ ルスイ 。
 e. k-e rusuy .
 うん。 私は食べる たい よ。 「うん。私は食べたいよ。」

2) キキンニウセイ クカル ワ カン 。
 kikinniusey ku-kar wa k-an .
 ナナカマドのお茶 私が³作る て 私が³いる よ。
 「ナナカマドのお茶を私は作ってあるよ(だから飲みなさい)。」

今日のポイント  終助詞 ワ waの使い過ぎに注意。

格助詞 — 位置関係を表す助詞

例文

(1) ムカワ タ カ ペカンペ ト オツ タ アン ペ ネ。
 mukawa ta ka pekanpe to ot ta an pe ne.
 鷓川 でも 菱の実 沼 中 に ある もの である
「鷓川でも菱の実が沼にあったものだ。」

(2) サツポロ ウン カルパ ワ ケク シリ ネ ワ。
 satporo un k-arpa wa k-ek siri ne wa.
 札幌 へ 私が-行く て 私が-来る ところ である よ
「私は札幌へ行くところなんですよ。」

(3) カニ アナクネ シオミ コタン オル ワ ケク ルウェ ネ ナ。
 káni anakne, siomi kotan or wa k-ek ruwe ne na.
 私 は 汐見 村 所 から 私が-来る 事 である よ
「私は汐見村から来たのですよ。」

単語

アイヌ語		日本語訳
アナクネ	anakne	～は
アルパ	arpa	行く
アン	an	ある、いる
ウン	un	～へ
エク	ek	来る
オツ	ot	ところ、中、場所(オル or が t の前で オツ ot と変化したもの)
オル	or	ところ、中、場所
カ	ka	～も
カニ	káni	私
ク	k-	私が
コタン	kotan	村
サツポロ	satporo	札幌
シオミ	siomi	汐見(鷓川の地名)
シリ	siri	有様、様子、～するところ
タ	ta	～で、～に
ト	to	沼、湖、池(実際の発音ではトーと長く発音されることがよくある。)
ナ	na	～よ
ネ	ne	～である
ペ	pe	もの
ペカンペ	pekanpe	菱の実
ムカワ	mukawa	鷓川
ルウェ	ruwe	事、～の
ワ	wa	～から
ワ	wa	～て
ワ	wa	～よ

解説

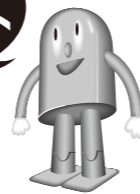
アイヌ語には、日本語の「学校で」の「で」、「病院へ」の「へ」のように、名詞の後ろに付いて動作、状態の存在する場所や、動作が向かう方向のような位置関係を表す助詞があります。このような助詞を「格助詞」といいます。よく使われるものとしては「タ ta ～に、～で」、「ウン un ～へ」、「ワ wa ～から」のようなものがあります。日本語と意味は似ていますが、大きく違うのはアイヌ語の格助詞は必ず場所を意味する名詞と一緒に使われる、という点です。例文(1)では、「沼・で」は、「ト オツ タ to ot ta 沼・ところ・で」となっています。日本語の直訳で考えると、「ト タ to ta 沼・で」でよいように思いますが、「ト to 沼」それ自体は地形を意味する名詞で、場所の意味を含んでいません。こういう場合には、「ところ、中、場所」を意味する要素である「オル or(tの前ではオツ ot と変化します)」で場所の意味を補う必要があるのです。これに対して、「鷓川」のような地名は、位置名詞ではありませんが、もともと場所の意味を含んでいるので、すぐ後にそのまま格助詞を付けて、「ムカワ タ mukawa ta 鷓川・で」のように言うことが可能です。位置名詞については次の章でくわしく学びます。ここでは基本的な格助詞「タ ta ～に、～で」、「ウン un ～へ」、「ワ wa ～から」をまずしっかり覚えて下さい。

例題

アイヌ語に直しなさい。

- 1) 札幌にいる(アン an いる)
- 2) 札幌へ行く(アルパ arpa 行く)
- 3) 札幌から来る(エク ek 来る)

今日のポイント



アイヌ語の格助詞→主なものは次の三つ。

タ ta 「～で、～に」

ウン un 「～へ」

ワ wa 「～から」

場所の意味を含む名詞と一緒に使われる。

MEMO

例文

(1) カムイチェブ クタタ ワ オハウ オル コマレ ワ ケラアン。
 kamuycep ku-tata wa ohaw or k-omare wa kéraan.
 サケ 私が³-刻む て 汁 中 私が³-入れる て おいしい
「私がサケを刻んで汁の中へ入れたのでおいしかった。」

(2) シサム コタン オツ タ パテック カン ペ ネ クス
 sísam kotan ot ta patek k-an pe ne kusu
 和人 村 ところ に ばかり 私が³-いる もの である ので
 アコル イタク イェ クル アナクネ シネン カ イサム ペ ネ。
 a-kor itak ye kur anakne sinen ka isam pe ne
 私達が³-持つ 言葉 言う 人 は 一人 も いない もの である
「和人の村にばかり私はいたものだからアイヌ語を言う人は一人もいなかったものだ。」

単語

アイヌ語	日本語訳
ア	a-
アナクネ	anakne
アン	an
イエ	ye
イサム	isam
イタク	itak
オツ	ot
オハウ	ohaw
オマレ	omare
オル	or
カ	ka
カムイチェブ	kamuycep
ク	k-
クス	kusu
クル	kur
ケラアン	kéraan
コタン	kotan
コル	kor
シネン	sinen
シサム	sísam
タ	ta
タタ	tata
ネ	ne
パテック	patek
ペ	pe
ワ	wa

解説

前のレッスン29で、日本語の「で」や「に」とよく似た意味を表す格助詞について学びました。そこでも基本的な点は説明しましたが、アイヌ語には位置関係を表す「位置名詞」という特別な名詞があります。例文(1)を見ましょう。オハウ ohaw は「汁、おつゆ、スープ、シチュー」に当たるような、料理の名前です。この単語を、「オマレ omare ～が～に～を入れる」という単語と組み合わせて使って、「おつゆに(サケを)入れる」と言いたい場合、どうすればよいでしょうか。この場合、「おつゆ」はサケの身を入れる場所を表しているわけですが、実は「おつゆ」は料理の名前ですから、それ自体には場所の意味がありません。ですから、日本語を直訳して、「オハウ カムイチェブ オマレ ohaw kamuycep omare おつゆにサケを入れる」と言うと、アイヌ語としてはちょっとおかしな表現になってしまうのです。正しくは、「オル or ところ、場所、中」という位置名詞を補って、「オハウ オル カムイチェブ オマレ ohaw or kamuycep omare おつゆの中にサケを入れる」のように言う必要があるのです。

例文(2)にも似たような問題が含まれています。「シサム コタン sísam kotan 和人の村」に格助詞の「タ ta ～に」を付けて、「和人の村で」のような表現を作りたいとき、どうすればよいでしょうか。同じく、日本語を直訳して「シサム コタン タ sísam kotan ta 和人の村で」と言えよいか、ということ、そう単純ではありません。「コタン kotan 村」は、日本語のような感覚だと、十分「場所、位置」の意味を持っていてそう思うのですが、アイヌ語的には、「人間や家の集合体」のようなもっと具体的な意味を持っているらしく、やはり位置名詞「オル or ところ、場所(オツ ot に変化)」を入れて、「シサム コタン タ sísam kotan ot ta 和人の村のところで」のように言います。もっとも、「コタン kotan 村」は「オハウ ohaw 汁」よりも「位置、場所」との意味的関係が深いので、「シサム コタン タ sísam kotan ta 和人の村で」という言い方もあるようです。


ちなみに、「鶴川」、「札幌」のような地名を意味する名詞は、それ自体が明らかに場所の意味を含んでいますので、位置名詞の助けを借りる必要がありません。「ムカワ タ mukawa ta 鶴川・で」、「サツポロ ウン satporo un 札幌・へ」のようになります。ただし、地名と言っても、「札幌」や「鶴川」のように古くから知られていて地名だということが明らかなものでない、位置名詞を省略することは無理なようです。また、札幌や鶴川のようなよく知られた地名であっても、位置名詞の「オル or(交替形はオツ ot)」を間にはさんで、「サツポロ オツ タ satporo ot ta 札幌・ところ・で」、「ムカワ オツ タ mukawa ot ta 鶴川・ところ・で」のように言うこともあります。ある名詞が場所的意味を含んでいるかどうかは簡単には判断できません。はじめのうちは辞書をよく調べて位置名詞が必要かどうかを確認したほうが良いでしょう。なお、「上下」、「前後」のような、もっと細かな場所の指定にはまた別の位置名詞がありますが、「オル or ところ、場所、中」という位置名詞は、文法的に位置名詞が必要な場合にいわば場所ふさぎ的に用いられる「ダミー」のような存在で、具体的な意味はあまりないので、特に必要がある場合以外は訳さなくとも良い、という点も心に留めておいてください。

例題

格助詞を付けて言ってみましょう
 (ヒント:「学校」、「病院」、「川」はそれ自体は「建物、建築物」、「地形」の意味しか持っていないので、格助詞を付ける時には「オル or ところ、場所、中」という抽象的な意味を持つ位置名詞の助けが必要です)。

- 1) 「学校で」(タ ta ～で) (「学校」はひとまず「学校」のまま)
- 2) 「病院へ」(ウン un ～へ) (「病院」は「病院」のまま)
- 3) 「川(ペツ pet)」(ワ wa ～から)

今日のポイント



格助詞の前には位置名詞が必要。
 「怪しい!」と思ったら万能の位置名詞「オル or ところ」を付ける。

位置名詞(2) — 位置名詞の人称変化

例 文

(1) エコッチャケ タ アン トウキ

e-kotcake ta an túki
お前の-前 に ある 杯
ウク ワ エンコレ ヤン。
uk wa en-kore yan.
取る て 私に-与える なさい

「お前の前にある杯を取って下さい。」

(2) エオシマケ タ アン イタンキ

e-osmake ta an itanki
お前の-後ろ に ある お椀
ウク ワ エンコレ ヤン。
uk wa en-kore yan.
取る て 私に-与える なさい

「お前の後ろにあるお椀を取って下さい。」

単 語

アイヌ語		日本語訳	備考
アン	an	ある	
イタンキ	itanki	お椀	
ウク	uk	取る	
エ	e-	お前を	
エン	en-	お前を、お前に	
オシマケ	osmake	後ろ	
コッチャケ	kotcake	前	
コレ	kore	与える	
タ	ta	～に	
トゥキ	túki	杯	
ヤン	yan	～なさい(丁寧な命令)	
ワ	wa	～て	

解 説

格助詞、位置名詞についてはレッスン29、レッスン30で既に学びました。今日のレッスンではさらに進んで、位置名詞の人称変化を学びます。

「オハウ ohaw 汁」、「コタン kotan 村」はそれ自体は場所の意味を含んでいないので、場所の意味を加える必要がある場合(例えば格助詞と共に使いたい場合)は、「オハウ オル ohaw or 汁の中」、「コタン オル kotan or 村の中」のような表現にする、ということは既に前のレッスンで学びました。それでは、「お前の前」、

「お前の後ろ」のような表現を作りたい場合はどうすればよいでしょうか。「前」は「コッチャケ kotcake」、「後ろ」は「オシマケ osmake」、「お前の」は「エ e-」という人称接辞で表されますので、「お前の前」、「お前の後ろ」はそれぞれ、「エコッチャケ e-kotcake」、「エオシマケ e-osmake」のようになるはずで、例文からわかるように実際、そうなります。つまり、位置名詞には人称接辞が付いて、人称変化をする、ということになります。もっとも、注意しなければならないのは、人称接辞には「主格人称接辞」と「目的格人称接辞」の二種類がありますが、位置名詞と共に用いられるのは、「主格人称接辞」ではなく、「目的格人称接辞」の方だ、という点です。「エ e-」は主格も目的格も共に「エ e-」で、形の区別がないのでみかけではわかりませんが、実はこの「エ e-」は目的格形です。「コッチャケ kotcake 前」を例として人称変化を示すと、だいたい次の表のようになります(例がないものは推測で補ってあります)。

一人称単数(目的格)	エンコッチャケ en-kotcake	私の・前
除外的一人称複数(目的格)	ウンコッチャケ un-kotcake	私達の・前
包括的一人称複数(目的格)	イコッチャケ i-kotcake	私達の・前
二人称単数(目的格)	エコッチャケ e-kotcake	お前の・前
二人称複数(目的格)	エチコッチャケ eci-kotcake	お前達の・前
三人称単数(目的格)	コッチャケ kotcake(無表示)	彼の・前
三人称複数(目的格)	コッチャケ kotcake(無表示)	彼らの・前

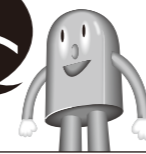
一人称単数は「クコッチャケ ku-kotcake」ではなく、「エンコッチャケ en-kotcake」です。訳では「私の・前」のように「の」で訳してありますが、直訳すると「私を・前」、「お前を・前」、「彼を・前」のような形です(三人称の場合は無表示)。木は「ニ ni」なので、「木の前」は「ニ コッチャケ ni kotcake」となりますが、詳しく言えば、この場合の「コッチャケ」は三人称単数目的格の人称接辞(実際には形がないので、仮に「ゼロ-」という記号で表す)が付いた「ニ (ゼロ)-コッチャケ ni (ゼロ)-kotcake 木・それを・前」という形をしていると考えられます(難しいので、実際には「三人称の場合は人称接辞は付かない」と覚えていけば十分です)。

どうして位置名詞は主格でなく、目的格の人称接辞によって人称変化をするのか、よくわかっていない点もありますが、英語も「トゥー ミー(私に)」とは言うけれども、「トゥー アイ」とは言わない、というのとちょっと似ています。

例 題

「オシマケ osmake 後ろ」に目的格人称接辞を付けて人称変化させなさい。

今日のポイント



位置名詞は「目的格人称変化」をする。

MEMO

ペツパル オッタ
petpar otta
川口で

イワン チセ ムン チセ アカル キ ワ
iwan cise mun cise a-kar ki wa
六つの家、枯れ草の家を作って

ネ チセ オピッタ
ne cise opitta
その家を全部

アウフイカ ヒネ
a-uhuyka hine
燃やし、

ウフイ チセ オンナイケ オルン
uhuy cise onnayke orun
燃えた家の中へ

アエコテ ニシパ オマレ ヤッカ ウェン ワ
a-ekote nispa omare yakka wen wa
主人を中に入れても悪くて、

オロワ スイ アエコテ ニシパ アセ キ ワ
or wa suy a-ekote nispa a-se ki wa
それからまた主人を背負って

ペツパル オッタ アルパ ワ
petpar otta arpa wa
川口へ行き

アエコテ ニシパ アホツケレ キ ワ
a-ekote nispa a-hotkere ki wa
主人を寝かせて

フレ アユシニ アカル キ ワ
hureayusni a-kar ki wa
清め草(たちいちごの木)を作り

ネ タクサ アニ アエコテ ニシパ オルン
ne takusa ani a-ekote nispa orun
その清め草で主人に

フッサ フッサ セコロ ハウエアン コロ
hutsa hutsa sékor hawean kor
フッサ フッサと、言いながら

カシ アキク ワ クス
kasi a-kik wa kusu
悪魔払いをしたから、

単語

アイヌ語	日本語訳	備考
ア	a-	私
アニ	ani	〜で
アユシニ	ayusni	たちいちごの木
アルパ	arpa	行く
イワン	iwan	六つ(たくさん)
ウェン	wen	悪い
ウフイ	uhuy	燃える
ウフイカ	uhuyka	〜を燃やす
エコテ	ekote	夫婦になる
オッタ	otta	〜で
オピッタ	opitta	全部
オマレ	omare	〜の中に入れる
オルン	or un	〜へ
オロワ	or wa	そこから
オンナイケ	onnayke	その中・その内部
カシ キク	kasikik	悪魔祓い
カル	kar	作る
キ	ki	〜する
クス	kusu	〜するため・〜したから
コロ	kor	〜ながら
スイ	suy	また
セ	se	背負う
セコロ	sékor	〜という
タクサ	takusa	清め草
チセ	cise	家
ニシパ	nispa	男性
ネ	ne	その
ハウエアン	hawean	話す
ヒネ	hine	〜して・〜した
フッサ	hutsa	※お祓いの言葉※
フレ	hure	赤い
ペツパル	petpar	川口
ホツケレ	hotkere	寝かせる
ムン	mun	枯れ草
ヤッカ	yakka	〜でも
ワ	wa	〜して・〜て

MEMO

例文

(1) ピルカ セコル クヤイヌ。

pirka sékor ku-yaynu.

良い と 私が-思う

「私は良いと思う。」

(2) ヘマンタ アニ チェフ エコイキ シリ?

hemanta ani cep e-koyki siri?

何 で 魚 お前が-取る の

「お前は何で魚を取るの?」

(3) クマツネポ トウラノ カルパ ワ ケク。

ku-matnepo turano k-arpa wa k-ek.

私の-娘 と 私が-行く て 私が-来る

「私は私の娘と一緒に行って来た。」

(4) タン ペ アクカリ ポロ チェフ ネ ワ。

tan pe akkari poro cep ne wa.

この もの より 大きい 魚 である よ

「これより大きい魚だよ。」

単語

アイヌ語		日本語訳	備考
アクカリ	akkari	～より、それより	
アニ	ani	～で、それで	
アルパ	arpa	行く	
エ	e-	お前が、お前は、お前の	
エク	ek	来る	
ク	k-	私が、私は	
ク	ku-	私が、私は	
コイキ	koyki	獲る	
シリ	siri	有様、様子、～の?	
セコル	sékor	～と、そのように	
タン	tan	この	
チェフ	cep	魚	
トゥラノ	turano	～と(一緒に)、それと	
ネ	ne	～である	
ピルカ	pirka	良い	
ペ	pe	もの	
ヘマンタ	hemanta	何	
ポロ	poro	大きい	
マツネポ	matnepo	娘	
ヤイヌ	yaynu	思う	
ワ	wa	～て	

解説

格助詞「タ ta ～で、～に」、「ウン un ～へ」、「ワ wa ～から」については既に学びました。アイヌ語には、これらの他にも「～と」、「～で」、「～より」のような格助詞に似た意味を表す単語がいくつかあります。良く使われるものには次のようなものがあります。

アクカリ	akkari	～より
アニ	ani	～で、～を用いて
セコル	sékor	～と(言う)
トゥラノ	turano	～と(一緒に)

これらの単語は意味的に格助詞と似ていますが、格助詞とは大きく違う点があります。格助詞「タ ta ～で、～に」、「ウン un ～へ」、「ワ wa ～から」は、単独で使うことができません。文をいきなり格助詞「タ ta ～で、～に」、「ウン un ～へ」、「ワ wa ～から」で始めることができないのは、日本語で、「から私は来ました」と言うとおかしく感じるのと同じです。ところが、アイヌ語の、アクカリ akkari 「～より」、アニ ani 「～で、～を用いて」、セコル sékor 「～と(言う)」、トゥラノ turano 「～と(一緒に)」のような単語は独立性が高く、前に何も取らずに使うことができます。その場合は「アクカリ akkari」は「それより」、「アニ ani」は「それで、それを用いて」、「セコル sékor」は「そうと、そのように」、「トゥラノ turano」は「それと(一緒に)」のような指示的な意味を含んだ意味を表します。アイヌ語の文法では、これらの単語を格助詞と区別して、「後置副詞」という特別な名前と呼びます。難しいことはさておき、これらの単語は単独で使われることがある、ということをしっかり覚えて下さい。


「後置副詞」が高い独立性を持っているのは、実はこれらの語が理論的には「目的格人称変化」をしていると考えれば簡単に説明できます。独立で使われる場合は、何も付いていないように見えても実は三人称の「それを」という要素が付いているので、「それ・で」、「それ・より」、「そう・と」、「それ・と一緒に」のような意味を表すことができるわけです。例文(2)の「ヘマンタ アニ hemanta ani 何・で」という表現も、厳密に言えば、「ヘマンタ 三人称単数目的格-アニ hemanta (ゼロ)-ani 何 それを・で」という形だと考えられます。ですから、後置副詞の中には、意味的に可能な組み合わせであれば、はっきりと目的格人称接辞を取ることができるものがあります(たとえば、「私よりも」は「エンアクカリ en-akkari」となる)。ここでは難しいことはさておき、アニ ani で文章がはじまっても驚かずに、「それ・で」のように解釈すればよい、ということを中心に留めて置いて下さい。

例題

アイヌ語に訳しなさい。

- 1) 私は息子と一緒に暮らしている(クポホ ku-poho 私の息子、カン k-an 私は暮らしている)。
- 2) 私の息子は私と一緒に暮らしている。(エン en- 私を)

今日のポイント



後置副詞は名詞と一緒に用いられるだけでなく、それだけで単独で使われることもある。

例文

(1) カム パテック ケ コル ケウエン。

kam patek k-e kor k-ewen.

肉 ばかり 私が-食べる と 私が-具合が悪くなる

「私は肉ばかり食べると具合が悪くなる。」

(2) チェブ カ カム カ ケ ルスイ。

cep ka kam ka k-e rusuy.

魚 も 肉 も 私が-食べる たい

「私は魚も肉も食べたい。」

(3) カニ アナクネ カム ネ ヤクカ チェブ ネ ヤクカ ケラマスイ。

káni anakne kam ne yakka cep ne yakka k-eramasuy.

私 は 肉 も 魚 も 私が-好きだ

「私は肉も魚も好きだ。」

単語

アイヌ語	日本語訳	備考
アナクネ	anakne	～は
エ	e	食べる
エウエン	ewen	～で具合が悪くなる
エラマスイ	eramasuy	～を好む、好きだ
カニ	káni	私
カム	kam	肉
ク	k-	私は、私が
コル	kor	～と
チェブ	cep	魚
ネ ヤクカ	ne yakka	～も
パテック	patek	～だけ、～ばかり
ルスイ	rusuy	～たい

解説

チェブ カ ケ ルスイ cep ka k-e rusuy 「私は魚も食べたい」という文から、「カ ka ～も」という助詞を取ってしまって、チェブ ケ ルスイ cep k-e rusuy という文にすると、意味は「私は魚を食べたい」のようになって、少しニュアンスが変わりますが、アイヌ語としてはやはり正しい文になります。このように、細かなニュアンスを表してはいるものの、省略しても大きな影響を与えないような助詞を「副助詞」と呼びます。これまで例文の中でよく目にしてきた副助詞としては、次の三つがあげられます。

アナクネ	anakne	「～は」
カ	ka	「～も」
パテック	patek	「～だけ、～ばかり」

副助詞は微妙なニュアンスを表すので、細かな点ではまだよくわかっていないところもありますが、だいたいにおいて「カ ka」は日本語の「～も」によく似た「添加 (Aに加えてBも)」のような意味を表します。ただ、「カ ka」を使うと、幾分、感情的なニュアンスが付け加わるようです。例文(2)で言うと、「肉も魚も (両方ともぜひ)」のような感じでしょうか。また、「ネ ヤクカ ne yakka」のように、もともとは二つの単語ですが、熟語化して一つの副助詞のように使われるようになったものもあります。やはり「～もまた」のような添加の意味を表しますが、「ヤクカ yakka」が仮定の意味を表す要素なので、「仮に肉であったとしても、魚であったとしても」のような仮定のニュアンスを含むようです。

副助詞「アナクネ anakne ～は」は概略的に言うと、話し手と聞き手の両方が了解している要素に付けるのが原則です。従って、「何」のような疑問を表す要素に付けることはできません。日本語でも「何はありますか」と言うとおちよっとおかしく感じるのと同じです。また、「私」、「お前」のような代名詞的な要素の後によく現れます。これは「私」や「お前」が、当然のことながら話し手と聞き手の両方にとって了解済みの、ごくあたりまえの、会話の前提となる事柄であるためです。また、日本語の「～は」には、「魚は嫌いだ肉は好きだ」のように対比を表す用法がありますが、アイヌ語の「アナクネ anakne」にも似た用法があります。このように見て行くと、アナクネ anakne 「～は」は日本語の「～は」と似ているわけですが、いつ使い、いつ使わなくてもいいのか、細かな点になるとよくわかっていない点も少なくありません。ここでは概略「～は」とよく似た用法を持つ、と覚えて下さい。なお、これらの他にもアイヌ語の副助詞には多くのものがあります。機会があるごとに少しずつ覚えて下さい。

例題

当てはまる副助詞を入れなさい。

1) チェブ カム ケ ルスイ。
cep kam k-e rusuy.
魚 も 肉 も 私が-食べる たい

2) カニ カム ネ ヤクカ チェブ ネ ヤクカ ケラマスイ。
káni kam ne yakka cep ne yakka k-eramasuy.
私 は 肉 も 魚 も 私が-好きだ

今日のポイント



副助詞は省略できるが微妙なニュアンスを表す。
よく使われる副助詞
アナクネ anakne「～は」、カ ka「～も」、パテック patek「～ばかり」

例文

(1) カニ アナクネ アコル イタク ピルカノ クイエ カ エアイカフ
 káni anakne a-kor itak pirkano ku-ye ka eaykap.
 私 は 人が持つ 言葉 よく 私が言う も できない
「私はアイヌ語をうまく言うことができない」

(2) タアン カツケマツ アナクネ アコル イタク イエ エアシカイ
 taan katkemat anakne a-kor itak ye easkay.
 この 奥さん は 人が持つ 言葉 言う できる
「この奥さんはアイヌ語を言うことができる」

(3) チェブ カ カム カ ケ ルスイ。
 cep ka kam ka k-e rusuy.
 魚 も 肉 も 私が食べる たい **「私は魚も肉も食べたい」**

単語

アイヌ語	日本語訳	備考
ア	a-	(一般に)人が、人は
アナクネ	anakne	～は
イエ	ye	言う
イタク	itak	言葉、言語
エ	e	食べる
エアイカフ	eaykap	～できない
エアシカイ	easkay	～できる
カ	ka	～も
カ	ka	～も(否定の助詞)
カツケマツ	katkemat	奥さん、女性
カニ	káni	私
カム	kam	肉
ク	k-	私が、私は
ク	ku-	私が、私は
コル	kor	持つ
タアン	taan	この
チェブ	cep	魚
ピルカノ	pirkano	よく
ルスイ	rusuy	～たい

解説

これまで説明してきた格助詞、副助詞のような助詞は、主に名詞に付いているいろいろなニュアンスを加えるものでした。動詞に関しても、動詞の後ろに付けて、動詞の意味を補うような単語が色々あります。このような単語を「助動詞」と呼びます。助動詞に関して重要な点は、名前の通り、助動詞は動詞を助けるものなので、動詞と同じような人称変化をしない、という点です。既に説明したように、アイヌ語の動詞は原則、必ず「人称変化」する、という特徴がありました。しかし、助動詞は、動詞と共通する性格を持ちながらも、動詞と違い、人称変化をしない、という点が大きく違います。

例文(3)では、「ルスイ rusuy ～たい」という助動詞が使われていますが、本動詞の「エ e 食べる」が「ケ k-e 私が・食べる」のように人称変化しているのに対し、「～たい」を意味する「ルスイ rusuy」には人称接辞が付かず、人称変化していないことがわかります。意味的には、「私が・食べることを・私が・したい」という意味なので、助動詞にも人称接辞ク ku-「私が」を付けて、「ケ クルスイ k-e ku-rusuy」としてもよさそうなものですが、そういう言い方はないようです。このように、助動詞は動詞と違い、人称変化しない、という点に注意してください(もともと、方言差や個人差があつて、助動詞要素が人称変化している例もありませんが、基礎の段階では助動詞は人称変化しない、と覚えておいて下さい)。なお、助動詞として使われている要素は、もともとは動詞が助動詞に転用されたものが少なくありません。

例文(1)の「エアイカフ eaykap ～できない」はここでは助動詞として使われていますが、もともとは動詞です。従って、動詞として使って、人称変化をさせて、「ケアイカフ k-eaykap 私が・できない」のように言うことが可能です。ただし、その場合、今度は「クイエ ku-ye 私が・言う」の人称が省略されて、「イエ カ ケアイカフ ye ka k-eaykap」のようになります。ちなみに、このような表現は幾分「堅苦しい」ニュアンスを持っているようです。なお、繰り返しになりますが、「クイエ カ ケアイカフ ku-ye ka k-eaykap」のような言い方はあまり一般的なものではありません。アイヌ語の助動詞には実に様々なものがありますが、ここではまず、エアシカイ easkay「～できる」、エアイカフ eaykap「～できない」、ルスイ rusuy「～たい」の三語を覚えて下さい。

例題

空白に入る適切な形はどちらか答えなさい。

1) ケアイカフ k-eaykap 2) エアイカフ eaykap

カニ アナクネ アコル イタク ピルカノ クイエ カ 。
 káni anakne a-kor itak pirkano ku-ye ka .
 私 は アイヌ語 よく 私が言う も できない

今日のポイント

助動詞は人称変化しない。
 重要な助動詞:
 エアシカイ easkay 「～できる」
 エアイカフ eaykap 「～できない」
 ルスイ rusuy 「～たい」

例文

(1) ク ワ インカル
ku wa inkar.
飲む て 見る

「飲んで見る。」

(2) ク ワ イヌ。
ku wa inu.
飲む て 嗅ぐ

「飲んで見る。」

(3) キキンニ ウセイ クカル ワ カン ナ。
kikinni úsey ku-kar wa k-an na.
ナナカマド お茶 私がー作る て 私がーいる よ

「ナナカマドのお茶を私は作ってあるよ。」

(4) イタンキ ウク ワ エンコレ ヤン。
itanki uk wa en-kore yan.
お椀 取る て 私に-与える なさい

「お椀を取って下さい。」

単語

アイヌ語		日本語訳	備考
アン	an	ある、いる	
イタンキ	itanki	お椀	
イヌ	inu	匂いを嗅ぐ	
インカル	inkar	目を向ける、見る	
ウク	uk	取る	
ウセイ	úsey	お湯、お茶	
エン	en-	私を、私に	
カル	kar	作る	
キキンニ	kikinni	ナナカマド(樹木名)	
ク	ku-	私が、私は	
コレ	kore	与える	
ナ	na	～よ	
ヤン	yan	～なさい	
ワ	wa	～て	

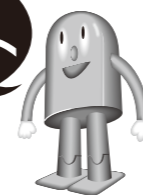
解説

前のレッスンで動詞の意味を補助して様々な意味を付け加える助動詞について学びました。アイヌ語には通常の助動詞の他に、接続助詞 wa と動詞を組み合わせる助動詞的な意味を表す熟語的な表現がみられます。日本語の「～ている」、「～である」、「～しておく」、「～てみる」と構造や意味がよく似ています。「ワ インカル wa inkar ～てみる」、「ワ イヌ wa inu ～てみる」、「ワ アン wa an ～てある、～ている」、「ワ エンコレ wa en-kore ～てくれる」のようなものがあります。日本語との目立つ違いの一つは、「ワ エンコレ wa en-kore ～てくれる」という表現です。日本語だと、「～てくれる」という表現は制限なしに色々な文脈で使うことができます。たとえば、「先生が僕にアイヌ語を教えてくれた」のように普通に言えます。ところが、アイヌ語では、これを直訳して「センセ アコル イタク エネパカシヌ ワ エンコレ sense a-kor itak en-epakasnu wa en-kore」とはあまり言わないようです。「～てくれ」という例文(4)のような命令文の意味でしか使わないようです。日本語と同じ感覚で、「ワ エンコレ wa en-kore」を使わないほうがよい、ということは頭の片隅に留めておいて下さい。なお、「ワ アン wa an ～ている」は主に結果が存在する状態(お茶を入れた結果、お茶を持っている)を表しますが、これについてはまた後で詳しく学びます。

例題

「肉を食べてみる」を作文しなさい(カム kam 肉、エ e 食べる)。

今日のポイント



「ワ + 動詞」型の熟語表現:

- 「ワ インカル wa inkar ～てみる」
- 「ワ イヌ wa inu ～てみる」
- 「ワ アン wa an ～てある、～ている」
- 「ワ エンコレ wa en-kore ～てくれる」

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

例文

(1) 「サケ」、アコル イタク アニ マカナク アイエ?

'sake', a-kor itak ani makanak a-ye?
サケ 人が持つ 言葉 で どう 人が言う

「サケ」はアイヌ語でどう言うか?

(2) 「カムイチェブ」 ネ ワ。

kamuycep ne wa.
サケ である よ

「カムイチェブだよ。」

(3) マカナク アカル ワ アエ コル ケラアン ペ ネ ヤ カ ケランペウテク。

makanak a-kar wa a-e kor kéraan pe ne ya ka k-eranpewtek.
どう 人が作る て 人が食べる と おいしい もの である か も 私がわからない

「どう料理して食べたらおいしいか私はわからない。」

(4) ケウンケライ ヤッカ オヌイタサ クコレ プ カ イサム。

k-eunkeray yakka onuytasa ku-kore p ka isam.
私がもらう ても 代わりに 私が与える もの も ない

「私は貰っても代わりにあげるものがない。」

(5) カニ アナクネ ムカワ ウン クル カ ソモ クネ。

káni anakne mukawa un kur ka somo ku-ne.
私 は 鷓川 に住んでいる 人 も ない 私がである

「私は鷓川の間人ではありません。」

単語

アイヌ語	日本語訳	備考
ア	a-	(一般に)人が、人は
アナクネ	anakne	～は
アニ	ani	～で
イエ	ye	言う
イサム	isam	ない
イタク	itak	言葉
ウン	un	～の、～に住んでいる
エ	e	食べる
エウンケライ	eunkeray	貰う
エランペウテク	eranpewtek	～を知らない、わからない
オヌイタサ	onuytasa	代わりに
カ	ka	～も(否定の助詞)
カニ	káni	私

アイヌ語	日本語訳	備考
カムイチェブ	kamuycep	サケ
カル	kar	作る
ク	k-	私が、私は
クル	kur	人
ケラアン	kéraan	おいしい
コル	kor	持つ
コレ	kore	与える
ソモ	somo	ない
ネ	ne	～である
プ	p	もの
ペ	pe	もの
マカナク	makanak	どう
ムカワ	mukawa	鷓川
ヤ	ya	～か
ヤッカ	yakka	～ても
ワ	wa	～て
ワ	wa	～よ

解説

アイヌ語の名詞の中には、独立して使えず、必ず前に何か説明的な言葉を補わないと普通は使えないものがあります。それらは大体において意味が一般的で、そのため、様々な表現を自由に作れるという利点があるので使われる割合が大変高いです。重要なものとして、「ペ pe もの」、「クル kur 人」の二つがあります。このような単語を「形式名詞」と言います。例えば、例文(3)のように、「マカナク アカル ワ アエ コル ケラアン ペ makanak a-kar wa a-e kor kéraan pe どう料理して食べるとおいしいもの」という非常に長い表現(名詞句)を作っています。なお、「ペ pe もの」は、もう一つ「プ p」という形も持っています。意味は同じく「もの」という意味で、ニュアンスの違いはありません。使い分けは、「ペ pe」のほうは子音で終わる単語の後で使われ、「プ p」のほうは母音で終わる単語の後で使われる、という規則になっています。また、「プ、ペ」は「もの」という意味ですが、人間に対して使うこともあります。ただし、その場合は、「奴」のような、ちょっと丁寧でないニュアンスになることがあるので注意してください。普通に「～する人、～である人」と言いたい場合には、例文(5)のように「クル kur」という形式名詞を使います。

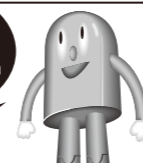
例題

適切な形を空白に入れなさい。

1) クコレ
ku-kore
私が与える もの

2) ケラアン
kéraan
おいしい もの

今日のポイント



「～するもの」は「ペ pe、プ p」
「～する人」は「クル kur」

例文

(1) カムイチェブ ネ ワ。 タン ペ エチコレ ナ。
 kamuycep ne wa. tan pe eci-kore na.
 サケ である よ。 この もの 私が・お前に-与える よ
「サケだよ。これをお前にあげるよ。」

(2) イヤイライケレ!
 iyayraykere.
 ありがとう。
「ありがとう。」

(3) ヘマンタ エコン ルスイ?
 hemanta e-kon rusuy?
 何 お前が-持つ たい
「お前は何が欲しい？」

(4) アエブ ネ ヤクン ネブ ネ ヤクカ クコン ルスイ。
 aep ne yakun nep ne yakka ku-kon rusuy.
 食べ物 である ならば 何 でも 私が-持つ たい
「食べ物なら何でも欲しい。」

単語

アイヌ語	日本語訳
アエブ	aep 食べ物
イヤイライケレ	iyayraykere ありがとう
エ	e- お前が、お前は
エチ	eci- 私が・お前に
カムイチェブ	kamuycep サケ
ク	ku- 私が、私は
コレ	kore 与える
コン	kon 持つ(コル kor 「持つ」の r の前での変化形)
タン	tan この
ナ	na ~よ
ネ	ne ~である
ネブ	nep 何
ネ ヤクカ	ne yakka ~でも
ペ	pe もの
ヘマンタ	hemanta 何
ヤクン	yakun ~ば
ルスイ	rusuy ~たい
ワ	wa ~よ

解説

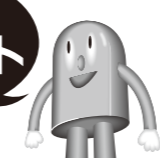
アイヌ語の動詞には人称接辞が付く、ということは何度も学びました。例えば、「私か」は「ク ku-」、「お前を、お前に」は「エ e-」という形で表される、ということも学びました。それでは、「私がお前を(に)」と言いたい場合には、どうなるでしょうか。単純に考えると、「ク ku-」と「エ e-」を組み合わせると、「クエ ku-e-」という形になりそうですが、実際はそうはなりません。鶴川方言では、「私がお前を(に)」は、「エチ eci-」という例外的な形で表されます。予想できない不規則な形ですが、重要な形なので、このまま覚えて下さい。

このように、「～が」という意味(これを「主格」と言います)と、「～を、～に」という意味(これを「目的格」と言います)が組み合わせられたものなので、「複合人称」あるいは「主格・目的格人称変化」と言います。実は、これまで学んで来たものの中にも、それと気付かずに「複合人称」が含まれていました。たとえば、例文(3)の「エコン e-kon (=エコル e-kor)」という形ですが、これは「エ e- お前が」と「それを(実際には形としては現れない)」という意味が二つ組み合わさったものでした。これは規則通りですし、わざわざ「複合人称」として扱うことはかえって複雑で覚えにくいので、これまで特に扱わなかったわけです。実用上はそれがかまいませんが、理屈の上では「～が」という意味と「～を」という二つの意味が同時に含まれている、ということに注意して下さい。繰り返しになりますが、不規則な「エチ eci- 私が・お前を、お前に」という言い方は、覚えてしまってください。

例題

空白に適切な形を入れなさい。

キク
 kik
 私が・お前を なぐる

今日のポイント  「私がお前を」は「エチ eci-」という不規則な形になる。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ウカタライライケ ウケウエホムス オロ ワ

ukatararayke ukewehomusu or wa

互いに手を取り合い、無事だったことに喜び、それから

アエコテ ニシパ テケ アニ ヒネ

a-ekote nispa teke ani hine

主人と手をつないで

アコロ ポン チセ オルン ホシピ ワ

a-kor pon cise orun hosipi wa

小さい家へ帰りました。

アシンル アナクネ ピルカ カムイ パテク

asinru anakne pirka kamuy patek

トイレには良い神様ばかり

アン ペカ ソモ キノ ホクレ ホシピ ネ ナ

an pe ka somo ki no hokure hosipi ne na

いるわけではないから、早く戻るんだよ。

オロワ アナクネ ネプ アコン ルスイ カ ネプ

or wa anakne nep a-kor rusuy ka nep

それからは、何もほしいものもなく、何も

イシトマ カ ソモ キノ

isitoma ka somo ki no

恐ろしいものもなく

オカ アン セコロ アペフチカムイ イソイタク

oka an sékor apehucikamuy isoytak

暮らしていると火の神様がおっしゃいました。

単語

アイヌ語		日本語訳
アシンル	asinru	トイレ
アナクネ	anakne	～は
アニ	ani	～で
アペフチカムイ	apehucikamuy	火の神様
アン	an	包括的一人称複数
アン ペカ	an pe ka	あるものも
イシトマ	isitoma	恐ろしい
イソイタク	isoytak	話す
ウカタライライケ	ukatararayke	互いに手を取り合って
ウケウエホムス	ukewehomusu	互いに危なかったことの見舞いをいう
エコテ	ekote	夫婦になる
オカ	oka	anの複数形 ある・いる
オルン	or un	～へ
オロワ	or wa	それから
カ	ka	～も
カムイ	kamuy	神様
コロ	kor	持つ
セコロ	sékor	～と
ソモ キノ	somo ki no	ない
チセ	cise	家
テケ	teke	手
ナ	na	～ね
ニシパ	nispa	男性
ネ	ne	～よ
ネプ	nep	何
パテク	patek	～ばかり
ヒネ	hine	～して
ピルカ	pirka	良い
ホクレ	hokure	早く
ホシピ	hosipi	戻る
ボン	pon	小さい
ルスイ	rusuy	～したい
ワ	wa	～て

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

アイヌ語⑩ イチャルパ(先祖供養)

先祖供養では、ご先祖さまの名前をアイヌ語で声に出しながら、お供え物をあげます。
おばあちゃんも、先祖供養のときはアイヌ語で行っているのを聞いたことがあります。
しかし、おばあちゃんは、ご先祖様の名前をいうだけではなく、心で想うことも言うそうです。

アイヌ語ラジオ講座収録テープ及びミニディスク(MD)の貸出しについて

1.利用時間

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構:午前9時～午後5時(月～金)
アイヌ文化交流センター:午前10時～午後6時

2.休業日

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構:土・日曜日、祝日、年末・年始(12月29日～1月3日)
アイヌ文化交流センター:月・日曜日、祝日の翌日、年末・年始(12月29日～1月3日)

3.申込手続から受取

裏面の申込用紙を当財団またはアイヌ文化交流センター事務局に提出いただき、手続きが完了しましたら、収録テープ等をお送りします。

また、送料は利用者負担としておりますので、送料分の切手を同封いただくか、または料金着払いにてお送りします。なお、切手を同封される場合には料金を下記までお問い合わせください。

4.期 間

申込みの日から14日以内に返却してください。

5.お問合せ先

(財)アイヌ文化振興・研究推進機構

〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1・7(5階)
TEL.(011)271-4171 FAX.(011)271-4181
e-mail: ainu@frpac.or.jp

アイヌ文化交流センター

〒104-0028
東京都中央区八重洲2丁目4番13号
アーバンスクエア八重洲(3階)
TEL.(03)3245-9831 FAX.(03)3510-2155
e-mail: acc-tokyo@frpac.or.jp

アイヌ語ラジオ講座収録テープ・ミニディスク(MD)の貸出申込用紙

*申込番号					申込日	平成	年	月	日
*返却期日	平成	年	月	日	*返却日	平成	年	月	日
住所	〒				氏名				
年齢	才	性別	男・女	職業					
連絡先	電話:		FAX:						
	電子メール:								
希望教室	平成10年度	札幌	千歳	平取	旭川	種類	・カセットテープ ・ミニディスク(MD) ○で囲んでください。		
	平成11年度	白老	釧路	登別	静内				
	平成12年度	白糠	浦河	鶴川	帯広				
	平成13年度	白老①	白老②	登別①	登別②				
	平成14年度	白糠①	白糠②	鶴川①	鶴川②				
	平成15年度	平取①	平取②	平取③	平取④				
	平成16年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④				
	平成17年度	静内①	静内②	静内③	静内④				
	平成18年度	様似①	様似②	様似③	様似④				
	平成19年度	平取①	平取②	平取③	平取④				
	平成20年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④				
	平成21年度	静内①	静内②	静内③	静内④				
	平成22年度	白老①	白老②	白老③	白老④				
平成23年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④					
平成24年度	鶴川①	鶴川②							
希望教室を○で囲んでください。									
特記事項									

注1 *印の箇所は記入しないでください。 注2 団体による申込みの場合には、代表者の氏名、住所等を記入してください。

リスナーのみなさまへ

「アイヌ語ラジオ講座」をお聴きいただきありがとうございます。

この講座は、初心者向けのアイヌ語やアイヌ文化講座として放送しています。この講座の必要性やあり方などを検討するにあたり、みなさまのご意見、ご感想などをお聞きするものです。下記の質問について、該当の番号を○で囲み、その他のご意見などをご記入の上、お送りください。

のりしろ

※キリトリ線を切り取って、封筒にしてご郵送ください。
※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせてください。

アイヌ語ラジオ講座アンケート (年齢 才 男・女)

I この講座についてお尋ねします。

問1 この講座をなにで知りましたか。
①ラジオ ②新聞 ③ホームページ ④ポスター・チラシ ⑤アイヌ語教室 ⑥その他()

問2 この講座を何回くらい聴いていますか。
①月に1回 ②月に2～3回 ③毎週 ④その他()

問3 この講座をいつ・どのような方法で聴いていますか。
①日曜日の本放送 ②土曜日の再放送 ③放送を録音して ④ホームページ ⑤貸出しテープ・MD

問4 この講座の放送時間(15分間)について、どう思われますか。
①もっと短く(分位) ②このままで良い ③もっと長く(分位)

問5 この講座の内容について、どう思われますか。
ア)「アイヌ語の例文紹介」について
①わかり易い ②普通 ③わかりにくい()
イ)「アイヌ語の解説」について
①わかり易い ②普通 ③わかりにくい()
ウ)「アイヌ文化の紹介」について
①わかり易い ②普通 ③わかりにくい()

問6 テキストの内容について、どう思われますか。
①もっと易しく ②このままで良い ③もっと詳しく()

II これからの講座のあり方についてお尋ねします。

問7 この講座をラジオで放送することについて、どう思われますか。
①続けてほしい ②どちらとも言えない ③やめても良い

問8 現在の内容のほか、どのような話を聞きたいですか。
①アイヌ語を学びきっかけなどの体験談 ②アイヌ文化に関わる体験談 ③地域のアイヌ語・文化に関わる活動の紹介
④その他()

問9 「アイヌ文化の紹介」で取りあげてほしいテーマはありますか。
①ある a地名 b歴史 c歌・踊り d口承文芸 e儀礼 f工芸 gその他() ②ない

Ⅲ その他のご意見があればお聞かせください。

のりしろ

※キリトリ線を切り取って、封筒にしてお送りください。
※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせ
てください。

(キリトリ)

(キリトリ)



料金受取人払郵便

札幌支店
承認

302

差出有効期限
平成26年3月
31日まで
●切手不要

0608788

札幌市中央区北二条西七丁目プレスト1・7 5階

財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

総務課
行



(キリトリ)

キリトリ線

(キリトリ)

はじめに

アイヌ語はアイヌの人たちの独自の言葉で、身近に触れているものとして地名があります。アイヌ語の地名は北海道をはじめ、サハリンや千島列島、それに東北地方にも残されています。地名の他にも「エトピリカ」や「ラッコ」、「トナカイ」などアイヌ語と意識されずに使われている言葉があります。

また、アイヌの人たちはユカラをはじめとする多くの優れた口承文芸を伝えてきました。語り継がれてきた物語の中には、自然の中で生きていく知恵や自然との折り合いの付け方などが盛り込まれていることも多く、話を聞くことで、さまざまなことを学べるようになっていきます。

現在では、アイヌ語が日常会話の言葉として使われることはほとんどありませんが、祖先から伝えられた言葉を多くの人たちが話せるようになるよう、いろいろな活動が行われています。

この「アイヌ語ラジオ講座」は、初心者向けのやさしいアイヌ語講座をラジオで放送し、多くの人たちにアイヌ語に触れ、学習する機会を提供するため平成10年から開設しているものです。

平成24年度は4月からの1年間、むかわ町出身の押野朱美さん、里架さんをお迎えし、アイヌ語講座を開設してまいります。

どうぞ、アイヌ語に触れてみてください。

平成24年10月

「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.3 目次

テキストは3か月ごとに発行しています。

○ 講師等の紹介	2
○ 講座のスケジュール	3
○ テキスト LESSON 28～LESSON 40	4～29
○ 収録テープ等の貸出しについて	30
○ アンケート	31

会員募集のお知らせ

『賛助会員』を募集しています。

国及び北海道からの財政的な支援を受けて、各種事業を実施していますが、多様な事業の展開を目指し、事業を充実させていくためには自主運営基盤の確立が重要です。このため、全国の個人、団体や企業の方々から、幅広くご理解、ご支援をいただくことが大切であると考え、財団の設立目的にご賛同下さる方々を賛助会員として募集しています。

年会費

- 法人・団体／一口 2万円
 - 個人／一口 5千円
- ※各一口以上です。

会員特典

- 財団発行の刊行物等の無料配布
 - 財団主催の展示会等の行事の案内や情報の提供などがあります。
- 入会には、申込書が必要ですので、希望される方は、財団本部(札幌)又はアイヌ文化交流センター(東京)にお問い合わせ下さい。

会費の用途

- 講演会の開催、アイヌ文化等に関する書籍等のライブラリーの整備などの自主事業の充実のために充てられます。

平成24年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.3

発行年月 平成24年10月
編集・発行 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構